

目標達成のための環境指標

指標項目	単位	H19年度現況値	H27年度目標値	
1 自然環境				
国立・国定公園の指定箇所	箇所	2		
国立・国定公園の指定面積	ha	47,005		
鳥獣保護区の面積	ha	49,522		
自然公園、自然（緑地）環境保全地域の指定	箇所	1		
市指定天然記念物の指定件数	件	8		
浅草山麓エコ・ミュージアム事業の参加者数	人	20,608	25,000	
2 生活環境				
大気汚染に関する苦情延べ件数	件	16		
騒音に関する苦情延べ件数	件	11		
悪臭に関する苦情延べ件数	件	10		
水質に関する苦情延べ件数	件	45		
一般騒音に係る環境基準達成率（指定地域内）	%	66.7		
道路騒音に係る環境基準達成率（指定地域内）	%	66.7		
污水处理人口普及率 ※1	%	99.6	100.0	
污水处理水洗化率	%	91.0	98.0	
一般廃棄物の排出量	t	18,114	15,900	
一般廃棄物のリサイクル率	%	20.8	28.0	
一般廃棄物の最終処分（埋立）量	t	1,760	1,540	
市民1人1日当たりの一般廃棄物排出量	g	1,155	1,090	
不法投棄物対応処理件数 （環境美化運動、ごみステーションの不適切排出物に伴うものは除く。）	件	71	35	
環境美化運動参加者人数	人	10,692	11,000	
3 快適環境				
都市公園等の施設数	奥只見レクリエーション都市公園（県営）	箇所	5	
	都市公園（市営）	箇所	10	
	農村公園（市営）	箇所	16	
	その他（市営）	箇所	24	
市指定文化財件数（天然記念物を除く）	件	76		
4 地球環境				
温室効果ガス（二酸化炭素等）の排出	t	※2 240,239	6%削減	
新エネルギー対応実例箇所	箇所	11	50	
市内の環境マネジメントシステム導入事業所数	(1) ISO14001	事業所	9	10
	(2) KES	事業所	2	4
	(3) エコアクション21	事業所	1	10

（注）目標値の斜線は、維持・改善をめざすことを表す。

※1：下水道、集落排水施設及びその他の集合処理による処理人口に合併処理浄化槽を利用している人口を加えた値を、総人口で除して算定した、污水处理施設の普及状況の指標

※2：平成16年2月策定地域新エネルギービジョン平成15年度推計値から引用

色とりどりの 魚沼市環境基本計画 概要版

四季と人が共生する まちづくり



平成21年3月
魚沼市

●環境基本計画の目的

この計画は、平成19年3月22日に施行した「魚沼市環境基本条例」の第8条に基づき、同条例第3条の基本理念を実現するために、総合的かつ計画的に施策を推進するための大綱として定めるものです。

●計画の期間

上位計画である「魚沼市総合計画」の第1次期間の終期を踏まえて、平成21年度から27年度までの7年間とします。

●計画の推進体制

施策の展開にあたり、魚沼市総合計画、魚沼市環境基本条例、国・県の環境基本計画を上位計画とし、市の各種計画とお互いに整合性を図りながら推進します。

●計画の推進の考え方

本計画は、行政の取り組みだけでなく、市民や市民団体、事業者など多くの関係者によって推進されなければなりません。そのためには、関連する施策や民間の取り組み状況等を把握したうえで、計画の進行管理を行う必要があります。また、指標の到達状況を定期的に調査し、達成状況についての評価、計画の見直しを行いながら、施策を展開していく必要があります。

魚沼市環境基本計画 概要版

発行：魚沼市 編集：魚沼市市民課環境対策室

〒946-8511 新潟県魚沼市大沢213番地1（湯之谷庁舎）
TEL:025-792-9766 FAX:025-793-1016

E-mail: kankyo@city.uonuma.niigata.jp
URL: http://www.city.uonuma.niigata.jp/

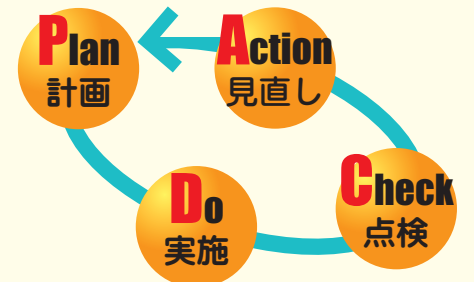
◎魚沼市環境基本計画の本編は、上記URL及び市立図書館でご覧いただくことができます。



この概要版は、古紙パルプ配合率70%の再生紙を使用しています。このマークは、3R活動推進フォーラムが定めた表示方法に則って自主的に表示しています。



環境にやさしい大豆インクを使用



基本方針1 豊かな自然環境を守り活かします

四季折々の美しい自然や貴重な動植物を守り活かしたまちづくりをみんなですすめます。



現状・課題

本市は、ラムサール条約^{*1}登録湿地である尾瀬国立公園や越後三山只見国定公園など国内でも有数の美しい自然に囲まれており、棚田や里山、中小河川など生活に身近な自然にも多くの誇れる景勝地があります。私たちはこのすばらしい自然環境を次世代にも引き継いでいきます。

取り組みの方向

- 市民** ・恵まれた自然環境への理解を深め、共に暮らすことの大切さを認識しながら、身近な自然の保護、保全活動をすすめます。
- 事業者** ・環境に影響が大きい事業者は、関係法令を遵守し、自然環境の保護とその対策の重要性を認識して活動します。
- 行政** ・環境にやさしいライフスタイルづくりを支援し、地域や学校での自然環境保全の啓発に取り組みます。
・持続可能な社会を目指し、自然環境の保護、保全に努めます。

基本方針3 うるおいのある快適環境をつくりま

きれいな水辺やさわやかな緑とふれあう中で、暮らしやすくうるおいのあるまちづくりをみんなですすめます。



現状・課題

本市にある多くの公園と水辺は、市民の憩いの場として広く親しまれています。また、雪は多くの恵みをもたらす一方、産業活動や日々の生活に弊害ももたらします。わたしたちは快適な暮らしを営むうえで自然との調和を心がけていかなければなりません。

取り組みの方向

- 市民** ・水辺と公園を大切にし、利用のルールやマナーを守り、自主的な整備に努めます。
・雪と親しむ活動に積極的に参加します。
- 事業者** ・「花いっぱい運動」などに参加し、快適な環境づくりに協力します。
・雪を新たなエネルギー資源として活用します。
- 行政** ・事業者や自治会と連携して、身近な緑地や公園の保全管理に努めます。
・エネルギー資源として雪の活用を研究、支援します。

基本方針2 さわやかな生活環境をつくりま

循環型社会の形成と環境への負荷が少ない社会を構築しながら、元気でさわやかなまちづくりをみんなですすめます。



現状・課題

騒音、振動、水質、大気汚染など、本市の生活環境は概ね良好な状態です。またエコプラント魚沼で排出されるダイオキシン^{*2}類などは環境基準と比較して低い値となっています。一方、法律で禁止されている野焼きや道路脇、河川敷などへのごみの不法投棄は依然絶えない状況です。

取り組みの方向

- 市民** ・「マイバック・マイ箸・マイ椀運動」などを通じ、ごみを出さない生活スタイル・地域づくりをすすめます。
- 事業者** ・ごみの野焼きや不法投棄を行わず、適正処分と資源化を進め、資源循環型ビジネスを展開します。
- 行政** ・ごみの適正な処理、処分と再資源化を推進します。
・県や関係団体と連携して、不法投棄の監視パトロールを強化します。

基本方針4 生命はぐくむ地球環境をみんな

かけがえのない地球環境を次の世代につなぐため、環境学習や環境保全の取り組みをみんなですすめます。



現状・課題

地球温暖化は、気候や生態系などの変化をもたらし、生活・産業基盤に甚大な影響を与える可能性があることから、市民、事業者と一体となった取り組みが必要です。

取り組みの方向

- 市民** ・エコドライブ^{*3}や3R^{*4}運動に取り組み、資源やエネルギーの有効利用に努めます。
- 事業者** ・事業に伴う環境への影響に十分配慮し、環境マネジメントシステム^{*5}の導入などにより継続的な環境改善に取り組みます。
- 行政** ・地球温暖化防止のための地域推進計画を策定し、市民、事業者と一体となって温室効果ガス^{*6}の排出削減に取り組みます。

^{*1} ラムサール条約：水鳥を食物連鎖の頂点とする湿地の生態系を守る目的で、1975年12月21日に発効された湿原の保存に関する国際条約です。鳥類だけではなく、絶滅のおそれのある動植物が生育・生息していたり、その地域を代表とする湿地なども登録されます。

^{*2} ダイオキシン：非常に強力な毒性を持つ物質で、環境ホルモンの一つです。有機塩素化合物の一種であるポリ塩化ジベンゾパラジオキシン（PCDD）を略して、「ダイオキシン」と呼びます。日本では、ごみの焼却炉からの排出が8～9割を占めるといわれています。

^{*3} エコドライブ：地球温暖化の要因の一つである二酸化炭素や大気汚染の原因の一つである自動車の排出ガスを減らすため、環境に配慮して自動車を運転することです。具体的には、アイドリングストップや一定速度での走行を心がけ、急発進や急停車をしないことなどがあげられます。

^{*4} 3R：リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用）の3つの頭文字をとったもので、廃棄物処理やリサイクルの優先順位のことで。

^{*5} 環境マネジメントシステム：事業者等が環境に与える負荷を軽減するための方針等を自ら設定し、これらの達成に取り組んでいくための仕組みで、このシステムの国際規格がISO14001です。

^{*6} 温室効果ガス：太陽の日射を受けて暖められた地表面が放つ赤外線を吸収し、その一部を再放射することで気温上昇を起こす原因となる気体で、地球温暖化の原因とされています。